

第49期 定時会員総会 事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

昨年度からは、コロナそのものは終息していないが、従来のインフルエンザのような区分となり、一部分の感染防止対策を継続しながら、日常生活が戻り、人々の動きとともにコロナ不況からの脱却を目指す年であった。

コロナ以降の収入ベースでの対前年比率は、全モード合計で令和2年度は4割弱、令和3年度は5割弱、令和4年度は7割程度、令和5年度は9割を超える回復基調であった。

大多数の会員において、コロナ以前からの課題である運転士不足は、コロナにより他業種への転出も加わり、需要の回復とともに、また2024年問題としての対応も重なり不足感が増しており、運転士の確保が喫緊の課題である。加えて、燃料費の高止まりや諸物価の高騰、賃金の改定などにも苦慮している。

乗合バスは日常の生活を支える基礎的な交通インフラとして日々運行を重ねているが、廃止・減便が相次いでいる。貸切バスは軽井沢スキーバス事故を受けて様々な対策・規制のもと安全性を確保し学校行事や観光等の手段として重要な役割を担っているが、年々様々な規制が加わっている。こうした中、昨年10月には新運賃制度になって初めての運賃・料金の見直しが図られた。高速乗合バスは首都圏等との往来手段の一端を担っており、徐々にコロナ前の運行本数に戻りつつある一方で、県内高速バスの運行において長野・松本線は収支が伴わず廃止となり長野・飯田線においても支援が無ければ運行が難しい現状となっている。

このように、コロナ以前からの旅客減少や深刻さを増す運転士不足等、加えて燃油高と依然として厳しい状況は内在しており、需要の回復とともに課題は継続する。

県からは、コロナ禍以降4か年総額で10億円余の支援を受けた。何れも、協会が全会員の申請を取りまとめ県に上申し支援を受けたが、会員の借入金も膨大で、収益が完全に戻らない状況下での返済があるなど、厳しい経営環境にある。

1. 協 会 員 令和6年3月31日

一般乗合	26社
一般貸切	73社
総会員数	75社

2. 役 員 (令和6年3月31日現在)

会 長 理 事	信南交通株式会社 代表取締役社長	中 島 一 夫
副会長理事	草軽交通株式会社 代表取締役社長	遠 藤 孝
副会長理事	千曲バス株式会社 代表取締役社長	高 野 公 秀
副会長理事	アルピコ交通株式会社 代表取締役社長	小 林 史 成
専 務 理 事	公益社団法人 長野県バス協会	松 井 道 夫
理 事	平成交通有限会社 代表取締役社長	壺 進
理 事	茅野バス観光株式会社 代表取締役社長	小 池 源 一
理 事	伊那バス株式会社 代表取締役社長	藤 澤 洋 二
理 事	森宮交通株式会社 代表取締役社長	山 岸 博 之
理 事	おんたけ交通株式会社 代表取締役社長	古 幡 勝 彦
理 事	長電バス株式会社 代表取締役社長	鈴 木 立 彦
監 事	宇賀田会計事務所 公認会計士	宇賀田 伸 彦
監 事	長野観光バス株式会社 取締役部長	高 柳 幸 恵

3. 専門委員会委員長 (令和6年3月31日現在)

総務対策委員長	信南交通株式会社 代表取締役社長	中 島 一 夫
労務対策委員長	アルピコ交通株式会社 代表取締役社長	小 林 史 成
補助税制対策委員長	千曲バス株式会社 代表取締役社長	高 野 公 秀
乗合バス対策委員長	長電バス株式会社 代表取締役社長	鈴 木 立 彦
貸切バス対策委員長 (観光バス涉外対策委員長)		
	平成交通有限株式会社 代表取締役社長	壺 進
安全輸送委員長	伊那バス株式会社 代表取締役社長	藤 澤 洋 二
環境対策委員長	茅野バス観光株式会社 代表取締役社長	小 池 源 一

4. 会 議

(1) 協会主催の主なる会議等

① 全体会議

○定時会員総会 令和5年6月12日 ホテルブエナビスタ

- 議題 1. 令和4年度事業報告及び収入支出決算について
2. 令和5年度事業計画及び収入支出予算について（報告）
3. 令和5年度入会金及び会費徴収規程について
4. 規約の改正について
5. 任期満了に伴う役員選任について

○新年会 令和6年1月31日 ホテルブエナビスタ

- 議題 新年の意見・情報交換等

② 理事会

○令和5年5月26日 ホテル信濃路

- 議題 1. 令和4年度事業報告及び収入支出決算について
2. 令和5年度第48期定時会員総会の開催について
3. 令和5年度事業計画及び収入支出予算について（報告）
4. 役員改選について
5. 規約の改正について
6. 協会長表彰について

○令和5年6月12日 ホテルブエナビスタ

- 議題 1. 会長、副会長、専務理事選任の件について
2. 専門委員会委員長及び日本バス協会委員会委員任命の件等
について

○令和6年1月31日 ホテルブエナビスタ

- 議題 1. 事業の経過報告等について
2. 長野県からの支援・助成交付金執行状況等について
3. 次年度事業計画・予算の骨子について
4. 2024年問題対応について

○令和6年3月14日 長野ターミナル会館

- 議題 1. 令和6年度事業計画及び収支予算及び資金調達・
設備投資の見込みについて
2. 積立金の創設等の件について

③ 専門委員会

- 総務対策委員会代表者会議 令和5年4月21日 (書面開催)
議題 令和4年度長野県バス協会長表彰について

- 乗合バス・貸切バス各対策合同委員会

令和5年9月5日 長野ターミナル会館

- 議題 貸切バス運賃・料金の見直しについて
改善基準告示のポイントについて 等

(2) 協会が出席した主な会議及びイベント・要請行動

【北陸信越ブロックエリア】

- 北陸信越貸切バス適正化センター総会 R5. 6. 16 新潟県トラック会館
- 同 理事会 R6. 2. 29 新潟県トラック会館
- 北陸信越地域事業用自動車安全対策会議 R5. 11. 17 (Web参加)

【運輸関連等】

- 長野運輸支局長表彰式典 R5. 11. 7 メトロポリタン長野
- 整備管理者選任後研修 打合会議 R5. 7. 27 長野運輸支局
- 同 反省検討会 R6. 3. 7 ホテル信濃路
- 自動車事故対策機構計画協議 R6. 3. 7 自動車事故対策機構
- 不正改造車を排除する運動打合せ R5. 5. 30
長野県自動車自動車整備振興会

【全国大会】

- 全国道路利用者会議大会 (長野県開催) R6. 10. 19 ホクト文化ホール

【長野県・県警関連等 (観光以外)】

- 国体常任委員会・総会 R5. 5. 31・R6. 2. 8 ホテル国際21
- 国体プロポーザル選考会 R5. 6. 7 県庁
- 国体準備委員会 輸送・交通専門委員会 R6. 1. 22 県スポーツ会館
- 長野県公共交通活性化協議会 R5. 9. 13・R6. 3. 21 J A会館
- 同 専門部会 R5. 6. 28 (Web参加)
- 持続可能な社会を支える地域公共交通のあり方に関する講演会
R5. 8. 18・R5. 9. 13・R5. 11. 27 J A会館

○長野県道路整備期成同盟会役員会・総会	R5. 5. 12	ホテル国際 2 1
○長野県移動性・安全性向上検討委員会	R5. 9. 4	(Web 開催)
○第 45 回プロトラハ-事故防止コンクール表彰式	R5. 5. 12	ホテル国際 2 1
○ 同 実行委員会	R5. 6. 20	県庁
○長野県交通安全協会定時評議員会	R5. 6. 14	外味 ^o リタ ⁿ 長野
○県民の警察官表彰式典	R5. 11. 14	N B S ホール
○交通事故ゼロチャレンジ実行委員会	R5. 6. 1	県庁
○長野県交通安全教育支援センター評議員会	R5. 6. 13	支援センター
○長野県高速道路交通安全協議会総会	R5. 7. 5	外味 ^o リタ ⁿ 長野
○長野県山岳遭難防止対策協会定期総会	R5. 5. 17	ホテル国際 2 1
○長野県薬物乱用対策推進協議会総会	R5. 4. 26	生涯学習センター
○長野県テロ対策パートナーシップ会議	R6. 2. 9	(中止：書面報告)
○長野県 G 7 外務大臣会合総会	R5. 8. 25	県庁特別会議室
○長野県暴力追放センター定時評議委員会	R5. 6. 2	ホテル信濃路
○長野県不正軽油撲滅協議会	R5. 7. 11	県合同庁舎
○長野県高山植物等保護対策協議会総会	R6. 1. 31	(書面開催)

【長野県観光関連等】

○長野県観光機構 理事会	R5. 6. 2・R5. 6. 19・R11. 29	経営者協会
○長野県観光機構 総会		R5. 6. 19 ホテル信濃路
○信州キャンペーン実行委員会	R5. 6. 15・R6. 3. 8	ホテル信濃路
○信州キャンペーン実行委員会総会		R5. 7. 10 ホテル信濃路
○インバウンド推進協議会		R5. 7. 13 (Web 開催)
○インバウンド推進協議会総会		R5. 7. 19 県合同庁舎
○長野県観光産業振興協議会総会		R5. 8. 10 ホテル国際 2 1
○ 同 協議会		R5. 11. 13 ホテル国際 2 1
○長野県旅行業協会通常総会		R5. 5. 25 千曲市

【その他会議・イベント等】

○中央経友会運送セミナー	R5. 4. 14	松本市
○安全性評価認定制度講習会	R5. 5. 31	(Web 開催)
○テロ対策合同訓練(東信地区乗合バス会社)	R5. 7. 28	上田市
○バスまつり i n 長野(会員合同)	R5. 10. 28	長野市
○女性のためのおしごと相談会	R6. 2. 26	松本市

- 人材確保事業者向けセミナー R6. 3. 6 (Web 開催)
- 運輸デジタルビジネス協議会セミナー R5. 7. 7 (Web 開催)
- 地域公共交通シンポジウム R5. 12. 21 (Web 開催)
- 社会資本整備総合交付金説明会 R5. 12. 21 (Web 開催)
- 長野地方最低賃金審議会(意見陳述) R5. 8. 1 ホテル信濃路

【要請行動等】

- 知事要望(固定費用負担・燃料価格高騰) R5. 5. 12 県庁
- 県交通局長要請行動(各種支援等) R5. 7. 5・R5. 12. 18 交通局
- バス総決起大会(政党要請) R5. 11. 8 自民党会館

(3) 日本バス協会関係(会長・各委員長・専務対応=リアル又はWeb)

- 会員総会 R5. 6. 9(定時)・R5. 11. 8(臨時)
- 新年賀詞交歓会 R6. 1. 18
- 全国専務理事会 R5. 8. 29・R6. 2. 15
- 定例・臨時理事会 R5. 5. 18・R5. 6. 9・R5. 9. 19・R6. 1. 18・R6. 3. 21
- 労務委員会 R5. 8. 24・R5. 12. 12
- 貸切委員会 R5. 8. 1・R6. 3. 4
- 貸切小委員会 R5. 4. 4・R5. 5. 9・R5. 6. 6・R5. 7. 4・R5. 9. 5・R5. 10. 3・
R5. 11. 7・R5. 12. 11・R6. 2. 6・R6. 2. 21
- 安全輸送委員会 R5. 5. 25
- 都市交通・地方交通・環境対策合同委員会 R5. 8. 3
- 環境対策委員会 R5. 8. 31
- 交付金運用特別委員会 R5. 5. 15・R5. 10. 23・R6. 2. 20
- 中央技術委員会 R5. 4. 20
- 同上 全国大会 R5. 10. 26

5. 講習等

(1) 運行管理者等指導講習会

- 基礎講習 R5. 6. 14～16 長野県トラック会館 18名
- R5. 7. 12～14 松本勤労者福祉センター 11名
- R5. 12. 13～15 長野県トラック会館 17名
- R6. 1. 24～26 松本勤労者福祉センター 10名
- 以上、自動車事故対策機構講習計 56名

R5. 6. 1~R6. 1. 31

アジマ自動車学校4講習計 8名

(合計 64名)

○一般講習

R5. 7. 7 長野県トラック会館 55名

R5. 8. 4 松本勤労者福祉センター 18名

R5. 9. 28 伊那商工会館 20名

R5. 10. 6 上小トラック会館 16名

R5. 10. 13 佐久地区トラック研修会館 15名

R5. 11. 9 松本勤労者福祉センター 37名

R5. 11. 17 長野県トラック会館 35名

R6. 1. 12 松本勤労者福祉センター 42名

R6. 1. 17 長野県トラック会館 21名

R6. 2. 15 自動車事故対策機構支所 3名

R6. 3. 7 自動車事故対策機構支所 5名

以上、自動車事故対策機構講習計 267名

R5. 6. 15~R6. 1. 25

アジマ自動車学校4講習計 52名

(合計 319名)

(2) 整備管理者研修

R5. 10. 30 佐久地区 6名

R5. 10. 31 上田地区 6名

R5. 11. 2 長野地区 15名

R5. 11. 15 駒ヶ根地区 13名

R5. 11. 16 諏訪地区 10名

R5. 11. 17 松本地区 9名

R5. 11. 27 長野地区 13名

R5. 12. 5 長野地区 5名

R6. 2. 7 長野地区 10名

(合計 87名)

- (3) 令和5年度運転者適性診断(対前年増減数)
- | | | | |
|------|------------|------|-----------|
| 一般診断 | 451名(-113) | 初任診断 | 149名(+54) |
| 適齢診断 | 230名(+34) | | |
| | | 合計 | 830名(-25) |

6. 表彰関係【敬称略】

(1) 令和5年度(第20回)協会長表彰

- ・事故防止にかかると功績顕著(6会員)

伊那バス(株)・柿木観光バス(株)・西武観光バス(株)・
太陽バス(株)・南信州広域タクシー(有)・(有)ユニバーサル運輸

(2) 北陸信越運輸局長表彰

- ・永年勤続(運転者功勞) アルピコ交通(株) 小林佳史・塚田高司
長電バス(株) 駒村豊

(3) 長野運輸支局長表彰

- ・永年勤続(事業功勞) 上田バス(株) 森住康雄
- ・永年勤続(運転者功勞) 千曲バス(株) 原田明彦
アルピコ交通(株) 小林公吉・岩淵博・宮坂康一・
高橋裕明・北原千明
おんたけ交通(株) 小田島明
中央アルプス観光(株) 鈴木満弘
- ・運行管理者 長電バス(株) 山本和宏

(4) 第46回プロドライバー事故防止コンクール表彰

- ・最優秀事業所6社

伊那バス(株)・柿木観光バス(株)・西武観光バス(株)・

太陽バス(株)・南信州広域タクシー(有)・(有)ユニバーサル運輸

- ・優秀事業所14社・優良事業所52社(記載省略)

(5) 日本バス協会長等表彰

- ・優良バス運転者 上田バス(株)2名・伊那バス(株)1名
- ・観光バスガイド 朝日観光自動車(株)1名
- ・評価認定長期継続優良事業者(10年継続かつ三ツ星で更新)

柿木観光バス(株)
東信観光バス(株)
平成交通(有)

7. 事業概況

(1) 総務関係

- ① バスご利用感謝まごころサービスマン月間(R5. 9. 15～9. 30)の取組として、各社においては、月間中「自主管理簿」による自主点検の実施・ワッペンの装着と「一言あいさつ運動」・クリーンアップ作戦等を実施するとともに、県主催の信州スマートムーブ通勤ウィークにも連携した取組を実施した。

協会としては、バスの日に合わせてFM長野でのCMを流したほか、9月15日にはバスの日企画による広報活動を展開した。

② 交通安全運動・安全総点検への取組

適切な運行の確保、シートベルト着用の推進、車両の点検整備の実施等を中心に下記運動において周知徹底を期した。

- ・春の全国交通安全運動 (R5. 5. 11～5. 20)
- ・夏の交通安全やまびこ運動 (R5. 7. 10～7. 19)
- ・秋の全国交通安全運動 (R5. 9. 21～9. 30)
- ・年末の交通安全運動 (R5. 12. 15～12. 31)
- ・年末年始の輸送等に関する安全総点検 (R5. 12. 10～R6. 1. 10)

③ 北陸信越運輸局新年挨拶 (R6. 1. 19 能登半島地震対応があり中止)

局長以下幹部への挨拶及び局長・自動車交通部長との意見交換は中止。

(2) 労務問題の対応

- ① 春季労使交渉について、円滑な交渉を図るため日本バス協会からの関連情報を収集し提供した。

- ② 各労働関係助成金等について一層の活用促進を図るため、労働局から資料を収集し周知を図った。

(3) 補助助成等

- ① 運輸事業振興助成交付金による補助事業は公益社団法人化に伴い、バス事業者全体が対象となっており、事前登録制としている。

- ② 協会補助事業については、適性診断や運行管理者講習等全額補助事業については十分活用された。また、コロナの影響で車両購入等が低迷し計上予算が余剰となるなど、執行済残を集約し次年度長野地域ＩＣカードの更新に伴う日本バス協会との協調補助負担金として300万円に備えるなど、有効活用することとした。なお、運転士募集・利用促進PRも継続して実施した。(別表1・2参照)

運転士不足を補うため、日本バス協会と当協会の二重適用による、二種免許の取得補助により雇用の促進を図った。

(4) 乗合バス対策

生活路線は利用者の減少から維持が困難な状況が続いているが、乗合バスが必要不可欠な交通手段であり維持存続について機会あるごとに主張してきた。また、自治体主導で開催されている地域公共交通会議の場において地域乗合バス事業者の経験と実績を活用した交通体系が図られるよう会員事業者とともに対応してきた。

なお、昨今において乗合バス事業者の路線廃止・運行撤退などにより貸切を主体とするバス事業者による路線運行等が年々増加しており、バス事業者が一丸となって生活路線を維持する方向性が今後も求められる。

- ① 委員委嘱されている市町村の地域公共交通会議(約20自治体)に極力出席し、各地域の交通計画の策定にあたりバス業界の立場で参画した。出席した地域公共交通会議(Web含む下記会議のほかに書面協議あり)

- ・長野市 R5. 5. 30/R5. 7. 24/R6. 1. 31/R6. 3. 27
- ・飯山市 R5. 10. 31
- ・千曲市 R5. 7. 19/R5. 12. 20/R6. 1. 24
- ・東御市 R5. 6. 22
- ・佐久市 R5. 6. 28
- ・軽井沢町 R5. 7. 4
- ・高山村 R5. 6. 26/R6. 2. 1
- ・青木村 R5. 6. 29
- ・長和町 R5. 12. 26
- ・安曇野市 R5. 5. 30
- ・白馬村 R5. 10. 30
- ・塩尻市 R5. 7. 6/R5. 12. 25
- ・大町市 R5. 12. 22
- ・辰野町 R5. 6. 30/R6. 1. 17
- ・豊丘村 R5. 6. 20
- ・下諏訪町 R5. 8. 28/R6. 3. 18

- ② 信州スマートムーブ通勤ウィーク(9月17日~30日)の実施としてマイカー利用を自粛し、公共交通や徒歩、自転車等の「地球にやさしい通勤への転換と体を動かすきっかけづくり」を目的とする県の運動に協力して「バス・電車ふれあいデー」特別割引回数券の設定やICカード

のポイント付加などを行い推進した。

(5) 貸切バス対策

安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策は85項目すべてが着手され、5年毎の許可も二巡目に入っている。

これら対策に加え、貸切バスに起因する事故等が起きることで、年々規制も強化されつつあり安全・安心に対する負担も少くない。

適正化実施機関による巡回指導は、コロナの影響で自粛・制約があったものの、現在では一営業所年1回の巡回指導をめざしている。

- ① 各地域における貸切バス事業者間での運賃問題や、輸送秩序について会員・非会員を問わず意見交換を行う「地域懇話会」の開催については昨年度末に北信地域・中信地域で再開され、他の地域においても再開をお願いしたい。
- ② 貸切バス事業者の安全性評価認定は前年度末で56社(約77%)が認定を受けており、許可更新時のインセンティブもあることから、初回申請経費の一部の補助制度により、会員全社の認定の推進を図っている。
なお、次年度においては現在の三ツ星から五ツ星への制度変更となることから関係規程類を確認願いたい。
- ③ 全国各地域の道路管理者・イベント主催者等からの観光バス車両に係る周知依頼について迅速に対応した。

(6) 安全輸送体制等の確立

国交省及び日本バス協会、関係機関からの通知・要請等を受け、周知・徹底を図るとともに、必要な訪問・試験実施案内対応等をした。

- ① バス車内事故防止を図るため7月をキャンペーン期間として取り組んだ。
- ② 整備管理者選任前研修の開催について、支局からの通知に基づき研修推進のため周知を図った。
- ③ 運行管理者研修の実施について、自動車事故対策機構等からの要請を受け、基礎講習・一般講習の周知を図った。
- ④ 自動車運転者労働時間管理適正化指導員制度に基づく事業者訪問として労働局の委嘱を受け、社会保険労務士とともに会員を訪問し運転者の労働条件の改善に係る指導・助言を行う計画に沿い、令和5年度の訪問は8事業所において実施された。

- ⑤ 運行管理者試験の実施について（公財）運行管理者試験センターからの依頼によりポスター・パンフレットでC B T試験の周知を図った。

旅客モードの受験状況は下記のとおり。

第1回 令和5年8月5日～9月3日

（県内）受験者 97名 合格者 27名 合格率 27.8%

（全国）受験者 5,158名 合格者 1,780名 合格率 34.5%

第2回 令和6年2月17日～3月17日

（県内）受験者 88名 合格者 31名 合格率 35.2%

（全国）受験者 5,434名 合格者 1,984名 合格率 36.5%

【C B T試験とは、Computer Based Testingの略で受験者はテストセンターに行き、問題用紙やマークシートを使用せず、パソコンの画面に表示される問題を見てマウス等を用いて解答する試験方式】

（7）輸送環境の改善及び環境対策

環境保全を積極的に推進するため「人と環境にやさしいバス等普及事業」や「自動車環境総合改善対策費補助金」の周知を図った。

- ① 不正軽油の使用により黒煙等の有害物質が増加することから自動車関係団体が協力・展開する撲滅対策に協力した。
- ② 不正改造車の排除強化月間（R5. 6. 1～6. 30）への取組
- ③ 自動車点検整備推進運動（R5. 9. 1～9. 30）への取組（特に大型自動車に関しては重点点検項目に基づき期間（R5. 10. 1～10. 31）を拡大して実施）

（8）協会員の推移と予算規模並びに広報活動の推進

8年前の軽井沢バス事故以降、急増した新規入会希望は令和4年度における4会員入会を最後に、その後相談を含めて希望はない。

協会費は入会会員車両数割の算定もあり、会員の増加と同様比率での伸びはなく、コロナ禍における減車もあり予算枠を下回った。

また、近年の運輸事業振興助成交付金も、会員の車両減少に伴い大幅な減少が続いている。

- ① ホームページについては、昨年度は日本でバスが走ってから120年を迎えたなど、コロナからの脱却モードでの関連情報をアップした。
- ② ラジオ広報などを活用し、年間を通してバスの公共性・交通安全・環境等関連周知をおこなうとともに、求人に係る広報も実施した。
- ③ バスの日を中心とする広報活動の一環として、FM長野によるCMの

のほか、9月はバスの日企画によりバス利用の感謝を申し上げるとともに、利用促進を呼びかけた。

- ④ 協会のリーフレットの改訂版発行については、検討中。

(9) 協会事務局体制の検討課題

協会事務局体制として、軽井沢のバス事故以降の大幅な会員増加により、この8年間余の新規会員の割合は全74会員のうち30会員と全体の4割を占めております。また、この間に9会員が退会されておりますがトータルとしての会員の大巾増加があります。事務局は、従来の職員規模において何とか継続しておりますが力量的には厳しい状況です。

また、協会は国や県・市町村・警察機関、その他多くの機関との連携のもとで業界としての対応を図っておりますが、昨今は観光等に関する様々な会議への参画も要請され多方面への対応を求められております。

加えて、コロナ禍以降の実情把握や情報発信、また、特に支援要請など対外的な対応は時機を捉えて実施して参りましたが、今後も各種要請行動等を継続し、より大きな成果を見出すには日常的にバス協会の存在をアピールしていく必要があります。

そのためには、協会としての事務処理体制の強化が必要と考えており、結論的には、会員の会費負担も伴うマンパワーの増強が必要ということになりますので今後の検討課題としてお含みおきください。

<運輸事業振興助成交付金・協会事業>

令和5年度・実施事業明細表

事業種別	事業内容	事業費総額	摘要
輸送サービス改善事業	「バスの日」の実施諸事業費 (ご利用感謝まごころサービス月間)	2,951,500	啓発配布物品(ポケットティッシュ・半永久鉛筆) まごころ月間垂れ幕 ラジオ企画(協賛・CM・出演)
	バス振興対策実施諸事業	772,000	ケーブルテレビ・スポットCM料 地域バスまつり開催諸経費助成
	ラジオスポットによる需要回復対策	652,000	公共交通利用促進・需要回復 運転士募集 日本のバス120周年
	計	4,375,500	
事故防止・安全運行対策事業	適性診断受診費	2,901,600	全額補助(※カウンセリング診断除く)
	運行管理者講習(基礎講習)受講費	569,600	全額補助
	運行管理者講習(一般講習)受講費	1,020,800	全額補助
	整備管理者講習受講手数料	43,500	全額補助 87名
	各種キャンペーン等協賛金	182,670	プロドライバー事故防止コンクール 交通事故ゼロチャレンジ事業
	安全対策広報費	1,126,070	車内事故防止ポスター作成 ラジオスポット 飲酒運転根絶・シニアドライバーキャンペーン企画等新聞広告
	研修・教材等諸経費	125,400	協会補助事業実施要領作成 整備管理規程(冊子)購入
	計	5,969,640	
環境対策	環境対策広報費	66,000	新聞広告(環境保護啓発)
各種補助	路線バス・貸切バス助成(日バス)協調補助	1,000,000	新車購入 衝突軽減1両5万円・ノステップ1両10万円 貸切バス中古車両 1両あたり5万円 8社17両
	免許取得促進助成	1,800,000	2種免許取得経費補助 14社18名 ※1人あたり10万円
	安全運行対策(EMS・ドラレコ導入)	60,000	EMS併用器 3台
	睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策	52,500	検査費用 4社21名 ※1人あたり上限2,500円
	飲酒運転防止インストラクター養成講座受講料	39,000	全額補助 2名
	貸切バス安全性評価認定申請手数料助成	35,360	申請手数料の20%補助(初回のみ) 2社
	補助事業運営管理費	3,500,000	補助事業の事務処理等に係る運営管理費
	計	6,486,860	
	合計	16,898,000	

(別表 2)

＜運輸事業振興助成交付金・乗合助成事業＞

令和5年度・実施事業明細表

事業主体	事業費 助成金額	事業内容
アルピコ交通(株)	2,990,000	キャッシュレス決済対応券売機 機能追加・更新
長電バス(株)	1,470,000	LED行先表示器の搭載
千曲バス(株)	660,000	行先表示器の更新
伊那バス(株)	560,000	デジタルサイネージシステムの搭載 (運賃表示器・次停留所名表示器)
信南交通(株)	380,000	停留所標識の更新
上田バス(株)	380,000	自動両替式運賃箱の更新
おんたけ交通(株)	360,000	自動両替機付運賃箱の設置
西武観光バス(株)	180,000	乗合バス路線図の作成
草軽交通(株)	150,000	整理券発行器の設置 (サーマル印字方式)
中央アルプス観光(株)	70,000	LED作業灯の設置
ジェイアールバス関東(株)	410,000	停留所標識の更新 バス停名の変更・追加に伴うデータ更新・作成等
東信観光バス(株)	140,000	新貨幣対応自動両替式運賃箱の整備
(有)やまびこ	90,000	簡易料金箱の更新
(有)白馬交通	190,000	バックカメラ新設・交換
(有)信州観光バス	60,000	停留所への待合ベンチ設置
(有)シンリク観光	40,000	路線名表示マグネットシート作成
南安タクシー(有)	210,000	「乗降中」表示板の設置
合 計	8,340,000	